遊離サイロキシン(FT4)	1103500
	担当部署
FT4	生化

検査オーダー

患者同意に関する要求事項		特記事項なし
オーダリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*1.頻用→
	2	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→腫瘍マーカー・内分泌→
	3	
	4	
	5	
検査に影響する臨床情報		特記事項なし
検査受付時間		8：15～16：00

検体採取・搬送・保存

患者の事前準備事項	特記事項なし
検体採取の特別なタイミング	負荷試験時や日内変動採血指示などの指示がある場合、指示通り

検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	全血	10 青	分離剤	8	mL
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-

検体搬送条件	室温
検体受入不可基準	1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体
保管検体の保存期間	冷蔵・2 週間(追加検査については、検査室に要問合せ)

検査結果・報告

検査室の所在地	病院棟 3 階　中央検査部				
測定時間	当日中～翌日				
生物学的基準範囲	0.90～1.70 ng/dL エクルーシス試薬 FT4Ⅳ試薬添付文書				
臨床判断値	設定なし				
基準値				単位	ng/dL
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
0.9	1.7	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし
パニック値	高値	設定なし			
	低値	設定なし			
生理的変動要因	特記事項なし				
臨床的意義	甲状腺ホルモン(T4、T3)は大部分が結合蛋白(主に TBG)と結合している。サイロキシン(T4)においては、遊離型(FT4)の占める割合はおよそ 0.02～0.03%である。 遊離型のみ生物活性をもつので FT4 を測定することは重要であるが、以前は測定自体が困難で、主に総サイロキシンが測定されてきた。 しかし近年では容易に測定できるようになり、また抗 T4 抗体の影響を受けない測定系も開発されたので甲状腺機能検査の主流になっている。 三菱化学メディエンス　検査項目解説　改訂第 4 版 232				